

ツリパチ!

TSURI GACHI

茨城県日立沖の一つテンヤマダイ

撮影/文◎本誌編集部

◀ヨッシーの得意な一つテンヤで日立沖のマダイに挑む



▶ハナダイに続いて本命のマダイを立て続けに2枚上げる



▲マダイとハナダイがダブルでヒット



▲当日のアベレージは500グラム級

潮が暗くて

マダイが宙層のテンヤに気づいてくれない……

●雨で視界も悪い中、穂先を注視し小さなアタリも逃さない



▲600グラム級のマダイが取り込まれた



▲釣り場は日立沖の水深30~50メートル前後
▶パラシュートアンカーを入れて1時間ほど流していく



◀水深50メートル前後では400~500グラム級のマダイがよく釣れた

▼船の前を横切るイルカの群れ。宙から底付近にいるマダイには影響はないそう

ヨッシーこと吉岡進がエサ、ルアー釣りを問わず、様々な釣り物にガチでチャレンジしていく当連載。第9回はヨッシーが得意とする一つテンヤマダイをチョイス、中大ダイで盛り上がっている茨城県日立エリアへ釣行した。

日立久慈漁港出船の主な釣り場は日立沖の水深30~50メートル前後で、パラシュートアンカーを入れて1時間の大流してじっくりマダイを狙っていく。

サイズは500~800グラム前後を主体に1キロ級がコンスタントに顔を出し、好日には2~4キロ級の大ダイも交じるといふ。

鹿ネチネチがよかつたみたい

ヨッシーも大喜び



◀暗いうちはカサゴやソイなど根魚の活性が高かった



Profile ◆よしおか すずむ 1982年生まれ。ヨッシーの愛称で親しまれている。一つテンヤマダイ、ライト系オフショールアーを得意とする。ジャッカルソルトプロスタップ、シーガーインストラクター。

◆本編(62ページより)は高橋剛が執筆。沖釣りの楽しさをヨッシーとともに伝えたい!





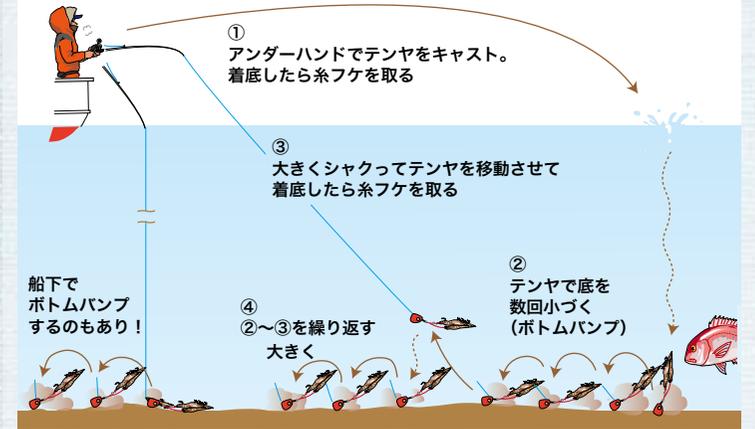
多彩なゲストが釣れる日立沖 当日は船中5目ゲット!

一つテンヤの釣り方イメージ

●終盤、宙層から底狙いへ切り替えたヨッシーはボトムバンプでマダイをゲット。ボトムバンプは底が暗くてマダイがエサを見つけにくいときに有効で、テンヤで底を小ついで砂煙で誘ったり、底付近で跳ねているエビを演出して、マダイにエサをアピールするテクニックだ。



ボトムバンプの釣り方イメージ



#船宿インフォメーション

茨城県日立 久慈漁港 **大さん弘漁丸**
☎0294-52-3504
(詳細は巻末の情報欄参照)
●料金=一つテンヤマダイ乗合一人1万1000円(エサ、氷、昼食付き)
●備考=5時15分集合。別船はヒラメでも出船



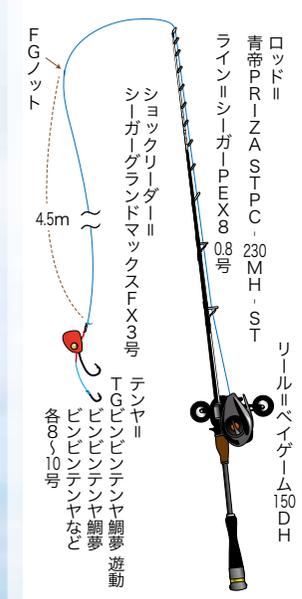
▲大型船で日立沖の釣りが楽しめる
▶沖揚がり後にお湯で手が洗えるのはうれしい
◀小泉 大輔船長(左)



▲マダイのダブルヒットもあった

一つテンヤタックル

ベイトタックル



●ベイトタックルの特徴は、スピニングに比べて糸フケが出にくいこと。糸フケを最小限にすることで着底が明確になり、根掛かりも軽減する



▲エビを1匹付けするのが基本で、エサが小さいときは親バリと孫バリに1匹ずつ刺してもいい



▲水深30メートル付近のポイントでは8号、40～50メートル前後を狙うときは10号のテンヤをチョイス



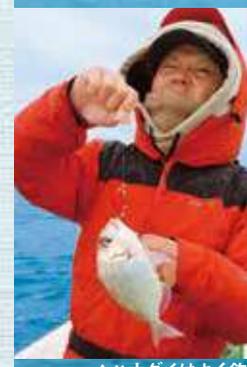
▲底狙いに切り替えるとすぐにアタる
▶TGピンピンテンヤ鯛夢遊動を使ったボトムバンプで400グラム級が釣れた



▲仲乗りの茂木正二さんも合間に竿を出して本命を釣り上げた

●合わせが決まり魚の重みが伝わってくる

まあ
こういう日も
あるよっ!



▲ハナダイはよく釣れた

1月下旬に釣行したのは周年マダイを狙って出船している大さん弘漁丸。小泉大輔船長に模様をつかがうと、「底付近は小タイが多く、中大タイは底から5メートルくらい浮いています」とのこと。
船長が向かった釣り場は日立沖の水深30メートル前後、近くにタチウオ狙いの船団も見える。
当日は朝から冷たい雨が降っていて北風と潮がぶつかり船はあまり流れないが、底付近を狙えば小タイやゲストも含めてアタリが多い。そんな中、ベイトタックルを手に宙層にいる中大タイ狙いに挑んだヨッシー。詳しくは62ページから始まる本編にて!